

# 農林水産商工常任委員会資料

(平成23年2月16日)

## 項目

- 1 ガイナーレ鳥取を活用した取組について  
【経済通商総室（企画調査室）】…1
- 2 環日本海定期貨客船航路の運航状況等について  
【経済通商総室（通商物流室）】…2
- 3 株式会社マルワフーズ渡辺水産 食品部生産工場の誘致に伴う協定書の  
調印について  
【産業振興総室（企業立地推進室）】…4

商工労働部

# ガイナレ鳥取を活用した取組について

平成 23 年 2 月 16 日  
広報課  
経済通商総室企画調査室

## 1. 取組の趣旨

ガイナレ鳥取の J2 昇格を機に、鳥取県では、ガイナレ鳥取の地域における注目度が高いこと、全国への情報発信が可能であること、メディアへの登場機会が多いこと等を踏まえ、ガイナレ鳥取と協働して県政推進に資する取組を行います。

## 2. 主な取組（案）

### ① 鳥取県とガイナレ鳥取の包括的な連携関係の構築

ガイナレ鳥取の地域における注目度が高いこと、全国への情報発信が可能であること、メディアへの登場機会が多いこと等の特性を活かし、鳥取県とガイナレ鳥取が協働し県政推進に取り組むため、包括的な連携協定を締結する。

### ② とっとりふるさと大使の委嘱

全国を舞台に活躍するガイナレ鳥取にとっとりふるさと大使を委嘱し、全国的に情報発信する。

### ③ 重要施策の情報発信に関する取組

ホームスタジアムでの情報発信、各種事業への選手等の参加など、広範囲にわたりガイナレ鳥取を活用した情報発信に取り組む。

### ④ 観光PR、物産振興に関する取組

ガイナレ鳥取のホームゲームに多くの県外観戦客を誘致し、県内での観光・宿泊、物産の購買の増等を図るため、アウェイゲームでのPR活動、ホームゲームでのおもてなしの心に満ちた対応、情報提供等に取り組む。

## 3. 当面の取組（案）

### ① 鳥取県・ガイナレ鳥取包括連携協定締結、鳥取ふるさと大使任命式（開幕前に実施予定）

### ② 開幕戦（3月6日 対徳島ヴォルティス）での観光PR等に係る取組（アウェイ）

### ③ ホーム開幕戦（3月13日 対FC岐阜戦）での観光案内等に係る取組

## 4. 鳥取市との連携

鳥取市では県外からの観戦客を増やし観光振興に資するため、WEBサイトを作成中である。このため、県がアウェイ及びホームゲームで行う取組と連携し、一層の効果があるよう取り組む。

なお、以上の取組は対戦チーム（スタジアム情報等を含む）の情報及び対戦チームとの交渉が必要なことから、ガイナレ鳥取の協力を得ながら協働して取り組む。

環日本海定期貨客船航路の運航状況等について

平成23年2月16日  
経済通商総室  
通商物流室

1 運航スケジュールの変更について

3月5日境港出発便から、ウラジオストク港に2泊する夏季スケジュールに移行する。なお、境港の寄航スケジュールは変更なし。境港から東海には翌日、ウラジオストクには翌々日に到着する。

■現行

【H22年11月28日(日)～H23年3月4日(金)】

区分	月	火	水	木	金	土	日
入港		13:00 ウラジオストク		9:00 東海	9:00 境港		9:00 東海
出港	15:00 東海		14:00 ウラジオストク	18:00 東海		19:00 境港	

■変更後

【H23年3月5日(土)～】

区分	月	火	水	木	金	土	日
入港	13:00 ウラジオストク			9:00 東海	9:00 境港		9:00 東海
出港			14:00 ウラジオストク	19:00 東海		19:00 境港	18:00 東海

2 航路利用の動向

■旅客(航路全区間)

- ・H23年1月24日現在、就航以来1年7ヶ月で総計220航次(往復)を運航。延べ約6万5千人が利用し、旅客数は順調に増加の趨勢にある。
- ・2010年の下半期(7月～12月)は、就航直後の2009年の下半期(7月～12月)に比べ、旅客総数で1.26倍、1往復当たりの旅客数で1.55倍に増加した。
- ・2010年の日本人利用客数は、前年の約半数の2,134人、全体の5.2%に留まった。
- ・2010年のロシア人利用客は、前年より9千人以上増加し11,880人、全体の29%を占めた。
- ・旅客の国別は約65%が韓国人。2011年1月以降も1便あたり300名を超える韓国人客が鳥取県を訪れており、韓国ドラマ「アテナ」の放映の影響も奏功。

■貨物(航路全区間)

- ・貨物は、ロシア向け車両部品等の輸出を中心に増加。
- ・2010年の下半期(7月～12月)は、就航直後の2009年の下半期(7月～12月)に比べ、貨物総量(トン)で3.04倍、1往復当たりの貨物量で3.66倍に増加した。
- ・一方、ロシア、韓国からの帰り荷の確保が課題。

3 航路全体の運航実績(H21.6.29～H23.1.24 韓国東海市まとめ)

■旅客

区分	境港～東海	東海～ウラジオストク	合計
運航回数(往復)	139回	81回	220回
乗客数(人)	46,240	18,945	65,185

①乗客数の国籍別内訳

単位：人

総乗客数	韓国人	日本人	ロシア人	その他
65,185	42,380	5,908	15,660	1,237
100.0 %	65.0 %	9.1 %	24.0 %	1.9 %
20,496	14,124	3,739	2,459	174
100.0 %	68.9 %	18.2 %	12.0 %	0.8 %
40,916	25,877	2,134	11,880	1,025
100.0 %	63.2 %	5.2 %	29.0 %	2.5 %
3,773	2,379	35	1,321	38
100.0 %	63.1 %	0.9 %	35.0 %	1.0 %

②乗客数の航路別内訳

単位：人

計/月別	東海→境港	境港→東海	東海→ワシオ	ワシオ→東海
《総計》				
65,185	23,001	23,239	9,506	9,439
100.0 %	35.3 %	35.7 %	14.6 %	14.5 %
《2009年》				
20,496	9,043	8,852	1,160	1,441
100.0 %	44.1 %	43.2 %	5.7 %	7.0 %
《2010年》				
40,916	12,915	13,079	7,501	7,421
100.0 %	31.6 %	32.0 %	18.3 %	18.1 %
《2011年》				
3,773	1,043	1,308	845	577
100.0 %	27.6 %	34.7 %	22.4 %	15.3 %

■貨物

①貨物量の荷姿別内訳

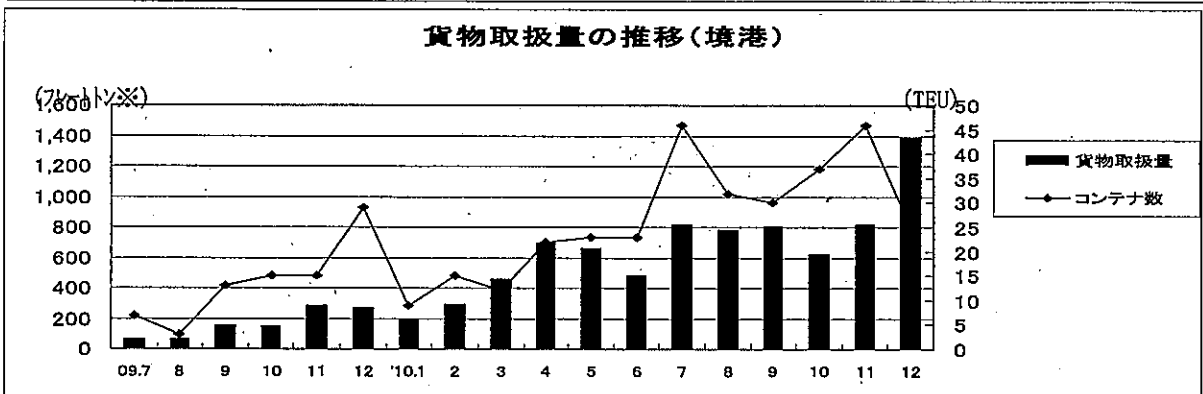
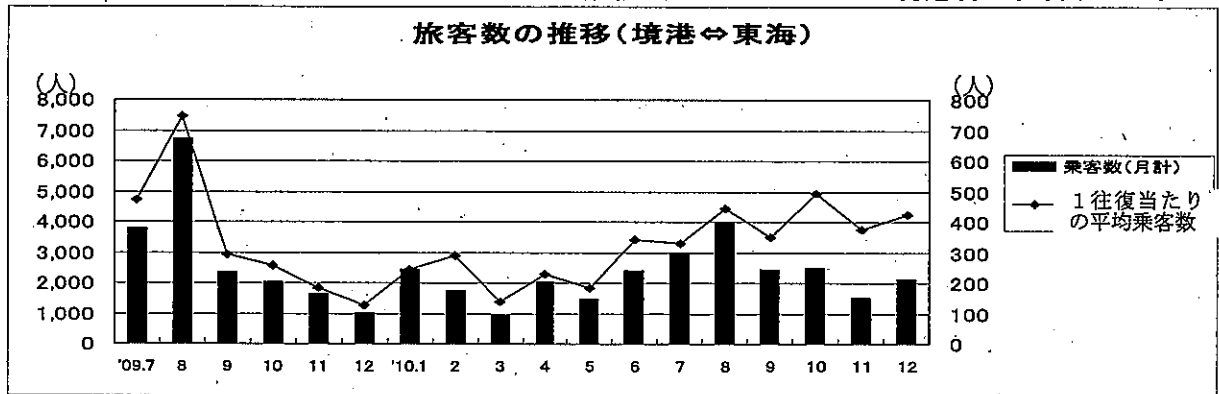
区分	コンテナ	車両	バルク	合計
重量ベース (トン)	4,275	7,497	7,267	19,309
構成比 (%)	22.4	39.4	38.2	100.0
(コンテナ数)	715 TEU	-	-	-

②貨物量 (重量ベース) の航路別内訳

単位：トン

計/月別	東海→境港	境港→東海	東海→ワシオ	ワシオ→東海	ワシオ→境港	境港→ワシオ
《総計》						
19,039	1,100	432	12,205	1,661	817	2,825
100.0 %	5.8 %	2.3 %	64.1 %	8.7 %	4.3 %	14.8 %
《2009年》						
2,926	206	133	1,897	337	154	200
100.0 %	7.0 %	4.5 %	64.8 %	11.5 %	5.3 %	6.8 %
《2010年》						
15,101	865	297	9,543	1,237	663	2,495
100.0 %	5.7 %	2.0 %	63.2 %	8.2 %	4.4 %	16.5 %
《2011年》						
1,012	29	2	765	87	0	130
100.0 %	2.9 %	0.2 %	75.6 %	8.6 %	0.0 %	12.8 %

4 境港における旅客数及び貨物量 (フルトン) の推移 (H21.7~H22.12 境港管理組合まとめ)



※フルトンとは、容積 1.113 m<sup>3</sup> (40 立方フィート)、重量 1,000 kg をもって 1 トンとし、重量または容積の何れが大なる方を採用してトン数とする方式。したがって、東海市の取りまとめている重量トとは値がことなる。

## 株式会社マルワフーズ渡辺水産 食品部生産工場の誘致に伴う協定書の調印について

平成23年2月16日  
産業振興総室  
企業立地推進室

株式会社マルワフーズ渡辺水産（本社：鳥取市賀露町）が、食品部（兵庫県美方郡新温泉町）を本社へ集約し、鳥取市に新工場を立地することとなり、これを支援する鳥取県及び鳥取市との間で協定書の調印を下記のとおり行いました。

### 記

#### 1 企業概要及び事業計画

- (1) 名称 株式会社マルワフーズ渡辺水産
- (2) 代表者 渡辺 敏孝
- (3) 住所 鳥取市賀露町西四丁目1803番7
- (4) 資本金 800万円
- (5) 従業員数 52名
- (6) 業務内容 水産物加工・販売事業

#### <投資計画>

- ・立地場所 鳥取市賀露町（本社工場隣）
- ・投資額 約2億5千万円
- ・雇用予定 25名程度
- ・事業内容 のり佃煮等、水産物加工製品を製造するための新工場立地
- ・操業開始 平成23年10月

#### 2 調印式の概要

- (1) 日時 2月10日（木） 午後3時15分から4時
- (2) 場所 鳥取市本庁舎三階第1応接室
- (3) 出席者 株式会社渡辺水産マルワフーズ  
代表取締役社長 渡辺 敏孝  
鳥取県知事 平井 伸治  
鳥取市長 竹内 功

